

念願の期待

時代の変遷

産業や経済の進展に大きな期待を受け走りだした国道283号。

しかし、急カーブ・急勾配が続く道路に加え、幅員の狭い仙人トンネルは、交通量の増加・トラックやバスの大規模に伴って、徒歩で峠越えをしていた時代のように再び「交通難所」と呼ばれるようになりました。

市民あげての運動

仙人道路の改良に向け昭和六十一年七月、釜石・遠野両市により「国道283号仙人道路改良整備促進期成同盟会」を結成。

翌年には「第一回仙人・10

00人総決起大会」が釜石市民文化会館で開催されました。市民が集い、仙人道路整備の必要性を国や県、関係機関に訴えるこの集会は、釜石・遠野・盛岡市を会場に計六回開催され、延べ約九千四百人が参加しました。

昭和六十三年には、釜石市の二百三十の団体が参加する「仙人道路整備促進釜石市民会議」を設立。市民主導の道路要望活動が展開されました。

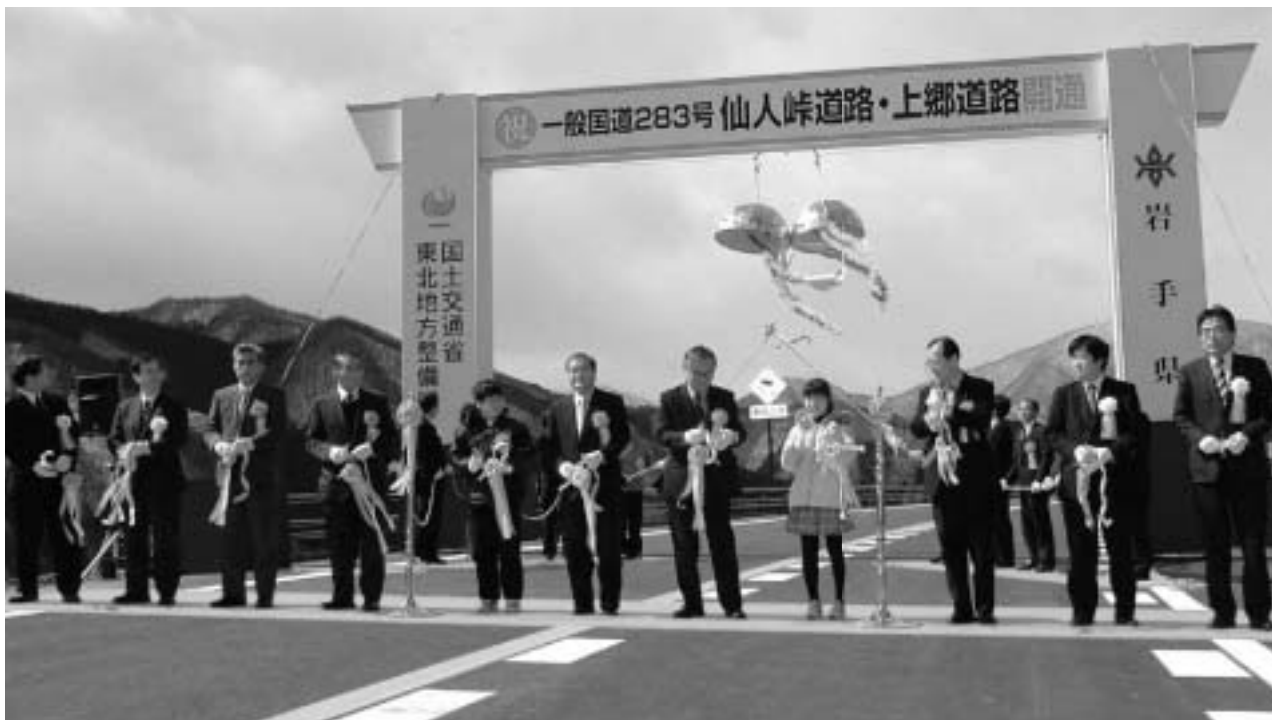
悲願への第一歩

このような活動が実り、昭和六十三年四月、当時の建設省が「仙人峠道路」の調査を開始します。

高まる期待

着工から十四年の歳月を経て、三月十八日に開通した仙人峠道路。急カーブ・急勾配はなくなり、距離も五・七キロ短縮されました。

新たな道路の開通、さらには釜石港の整備も進められ、内陸と沿岸の物流や人的交流が活発になり、産業や観光の



地元小学生と関係者らでテープカット、くす玉割りで開通を祝いました

促進に期待が寄せられます。また、高い確率で発生するといわれている三陸沖地震など、沿岸地域の災害時の救援活動等の防災面や、妊産婦の通院負担の軽減など地域医療・救急医療の面でも広域的な連携が期待され、「命をつなぐ路線」として重要な役割を担っています。

今後、東北自動車道釜石秋田線の東と遠野間の供用開始が十年以内を目指して進められ、さらなる発展が予想されます。

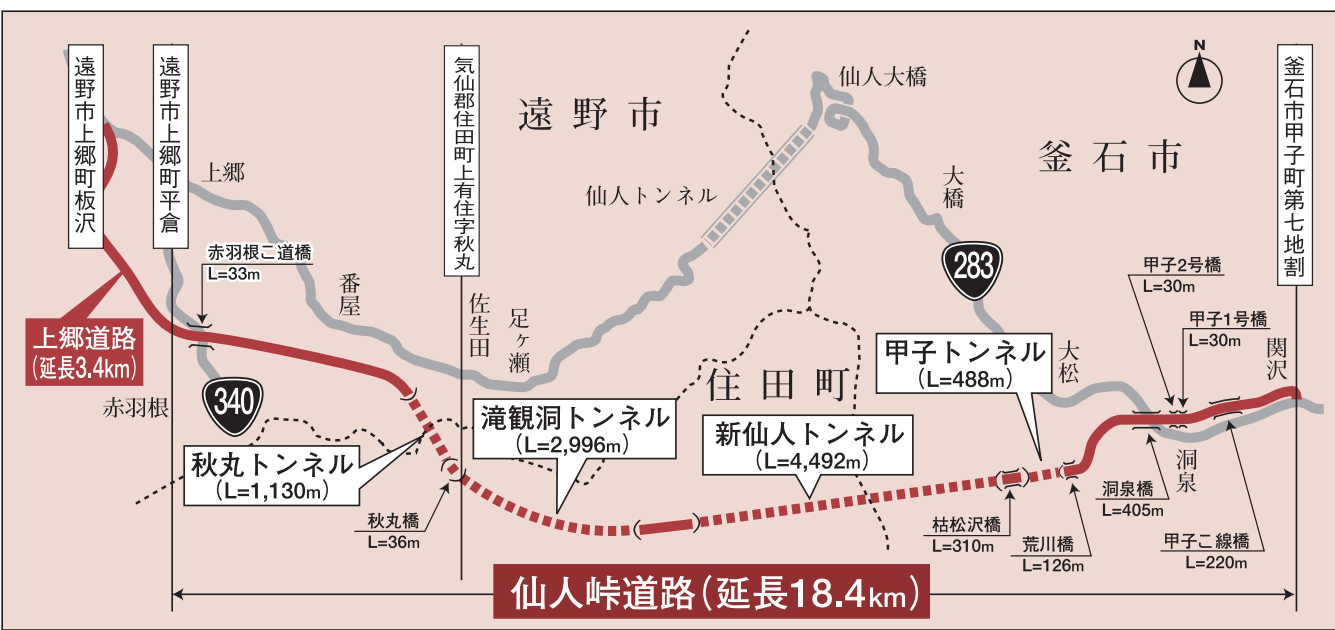
仙人峠道路は、安心安全な市民生活を守る道であり、地域発展への道、未来へ夢をつなげる道でもあります。



3月18日、上郷道路の新刃金橋では地域住民で渡り初めを行い、開通を祝いました

◎仙人峠道路、上郷道路の概要

- ① 距離・事業費**
仙人峠道路は延長18.4キロの自動車専用道路。総事業費約700億円。上郷道路は、仙人峠道路終点の上郷町平倉から同町板沢を結ぶ延長3.4キロの一般国道。総事業費約50億円。
- ② 構造物**
トンネル区間(4本)が約9.1キロ(49%)、橋梁区間(8橋)が約1.2キロ(6%)あり、全体の半分以上がトンネルと橋の区間。新仙人トンネル(4,492m)は現在、東北最長の道路トンネル。
- ③ 安全・環境配慮**
 - ・46カ所あった半径150m以下の急カーブは全て解消。坂の傾斜は4%(水平方向に100m進むと4m上がる)以下に緩和
 - ・新仙人トンネルは、平行する調査坑を非常時の避難路として利用
 - ・トンネルの入り口付近と、上郷道路の交差点には融雪装置を設置。上郷道路の融雪にはペレットボイラーを使用



インタビュー

新しい道路への期待の声



上郷町
菊池千恵子さん

産地直売所を立ち上げようと、近隣の人たちと取り組んでいて、自動車道の開通に対する期待は大きいです。産直を通じて、野菜や食べ物など、伝統的な物の生産・販売はもちろんのこと、新たな特産品の開発にもつながり、地域が活性化すればいいと思います。



共同組合遠野商業開発
紺野正明さん

これまでも釜石から遠野へ買い物に来るお客様が多かったので、仙人峠道路の開通によりさらに増えると思います。道路の開通は、釜石から北上、盛岡へ行きやすくなることから、遠野がどのように集客に取り組んでいくのが非常に重要になってくると考えています。



松崎町
渡邊真由美さん
来愛ちゃん

長女の出産のため、昨年6月から県立釜石病院に通院しました。天候や道路状況によって病院まで1時間以上掛かることもあり、とても心配でした。急カーブもなくなり、病院が近くなったことは、出産する人にとってとても助かります。



釜石市
千葉由美子さん

釜石から遠野に通勤しています。冬道は道路が凍結していて、対向車線にはみ出さないかいつも心配でした。新しい道路になり、とても快適に通勤できるようになりました。時間や距離が短縮された分、遠野と釜石の交流がもっと盛んになることを期待しています。